

舞の里だより

第308号 2021年 令和3年10月16日発行 毎月第3土曜発行 1993年創刊

住所:〒244-0813 横浜市戸塚区舞岡町1764 舞岡公園 小谷戸の里 Tel Fax 045-824-0107

公式ホームページ URL <http://maioka-koyato.jp/> 休館日 毎月第1、3月曜日 祝休日の場合はその翌日

【 次号「舞の里だより」11・12月合併号は12月4日(土)発行です 】

体験畑のコスモスが満開になりました。これは春に、入学したばかりの南舞岡小学校1年生のみなさんが種を蒔いてくれたものです。今年は例年よりも背が高くなりました。お散歩の際には、秋風に揺れるコスモスをどうぞご覧ください。

イベントについて

今号に掲載のイベントは、新型コロナウイルス感染症の状況によって中止となる場合もありますので、実施の有無を「舞岡公園公式ホームページ」やお電話でご確認ください。申込み受付後に中止となった場合はホームページに掲載し、個別にご連絡します。予めご了承ください。

竹細工 ミニ門松作り

公園で伐り出した青竹を使って、玄関に飾れるサイズの門松をひとつ作ります。往復はがきでお申込みください。高さ30cm位の大きさです。

日時 12月11日(土曜日)、12日(日曜日) 9時30分集合～12時 雨天決行 2日とも同内容

定員 各日20人(抽選)

費用 1個800円 小学生以下保護者同伴

持ち物 マスク、作業用手袋、汚れてもよい服装

申込 往復はがきに ①イベント名 ②参加希望日 ③郵便番号、住所、電話番号

④全員の氏名、年齢、学年 ⑤作る個数(上限は申込人数まで)

返信先宛名に住所・氏名を書いて小谷戸の里へ

11月22日(月曜日)必着。一枚の往復はがきに5人まで

わら細工～正月飾り作り～

公園の稲わらを^な織いお正月用の輪飾りを作ります。右のイラストは作品例です。手作りのお飾りで新年を迎えましょう。往復はがきでお申込みください。

日時 12月11日(土曜日)、12日(日曜日)13時集合～15時 雨天決行 2日とも同内容

定員 各日20人(抽選)

費用 1個500円 小学生以下保護者同伴

持ち物 マスク、汚れてもよい服装

申込 往復はがきに ①イベント名 ②参加希望日 ③郵便番号、住所、電話番号

④全員の氏名、年齢(学年) ⑤作る個数(上限は申込人数まで)

返信先宛名に住所・氏名を書いて小谷戸の里へ

11月25日(木)必着。一枚の往復はがきに5人まで

こども書初め会

古民家で書初めをしましょう。お題は1～12月の各月に合わせた季節の言葉です。書き上げた作品は古民家の床の間に飾ります。

日時 1月5日(水曜日) ①9時30分集合～10時30分

②10時30分集合～11時30分

③13時30分集合～14時30分

定員 小学生対象 ①②③各回4人(先着) 保護者同伴

持ち物 マスク、汚れてもよい服装

申込 12月11日(土曜日)9時から電話か直接小谷戸の里へ

イベントのご案内

| イベント | 参加費の記載がないものは無料 | |
|-----------------------|--|--|
| 共通事項 | 集合場所は小谷戸の里 | 小学生以下は保護者同伴 |
| イベント | 日時 | 定員・参加費・申込み方法・その他 |
| わら細工 鍋敷き作り | 11月14日(日曜日) 9時30分集合12時まで 事前申し込み制 | 定員 20人(先着) 申込 10月30日(土曜日)9時から電話か直接小谷戸の里へ 参加費 500円 持ち物 マスク、汚れてもよい服装 |
| 自然観察会 生きものの 冬支度 | 11月28日(日曜日) 13時集合15時まで 事前申し込み制 | 定員 15人(先着) 申込 11月9日(火曜日)9時から電話か直接小谷戸の里へ 持ち物 マスク 雨天中止 |
| 自然観察会 野鳥観察入門 | 12月12日(日曜日) 9時集合11時まで 事前申し込み制 | 定員 15人(先着) 申込 11月27日(土曜日)9時から電話か直接小谷戸の里へ 持ち物 <u>双眼鏡</u> 、マスク 雨天中止 |
| すす払い | 12月3日(金曜日) 9時集合12時まで 当日直接小谷戸の里へ | 長い竹を使って古民家のすす払いをします 持ち物 マスク、軍手、帽子(または三角巾)、汚れてもよい服装 雨天中止 |
| バード ウォッチング | 1月9日(日曜日) 9時集合11時まで 事前申し込み制 | 定員 15人(抽選) 参加費 中学生以上200円、小学生100円、未就学児無料 申込 往復はがきにイベント名・郵便番号・住所・電話番号・全員の氏名・年齢(学年)・返信先住所・氏名を記入して小谷戸の里へ 12月21日(火曜日)17時必着。1枚の往復はがきに5人まで ・持ち物: <u>双眼鏡</u> 、マスク 雨天中止 |

イベント中止のお知らせ

11月3日(水曜日祝日) まい作品展・秋

11月23日(火曜日祝日) 収穫祭

生きもの語り 第90回 そこに在ること(環境保全田のこと)の巻

草虫暦 寒露 菊に花が咲き、コオロギが戸口で鳴く頃

稲が実りの時期を迎えました。毎年変わらずに同じ田んぼで実る稲。遙か遠い昔、弥生の文化から、稲は連作障害もなく育つことができます。黄金色に広がるこの谷戸田の風景はずっと変わらずにあったことでしょう。

そんな稲の育つ土台である田んぼには、変わらずにありつつも、目に見えない生きものたちの小さな世界が、一年一年積み重なっています。耕さない(不耕起)、冬みず田んぼ(冬期湛水)は、そのことがとてもよく分かる田んぼです。舞岡公園には何枚か不耕起冬期湛水田(環境保全田)があります。

田んぼの泥の表面にゆらゆらと揺れているのはイトミズ。フンをしてとろとろ層を作ります。水中にはミジンコが動き回り、一年中ドジョウが大勢で泳ぎまわっている姿をすぐに見つけられます。ヤゴもいっぱい。カエルもやってきます。コサギなどの鳥もついでに来ます。一つ一つの田んぼに個性があり、どう人が手を入れるかでも違いが出てきます。

数えきれない生きものたちの命によって、田んぼのとろとろ層は年々積み重なり作られます。その栄養をもらって稲は毎年実るのです。田んぼの中での見事な循環が来ています。

畦草も多種多様な草があり、よく見極めて刈ることで今では希少となってしまった草花も見られるようになります。畦草にも根が畦を支えるだけでなく、生きものとの兼ね合いがあります。例えば、稲を食害する虫に対してバンカープランツ(虫を引き寄せてくれる植物)であったりするものもあります。

本当に自然は良く出来ていて、完成されている、と思います。舞岡公園は里山の風景を守り、多くの生きものたちのにぎわいととも在る公園です。一年中水が豊富で、湿田である谷戸田は、だからこそ、太古から続く生きものたちが生き続けられる場処となっています。

人が壊すのは一瞬でかんたんです。でもその田んぼの中の小さな小さな命の積み重ねは気の遠くなるような歳月をかけて作られています。不耕起冬期湛水田は、舞岡公園の田んぼの中で、そんな生物多様性の世界をより垣間見ることができます。

田んぼのなかをじっと覗いてみてください。きっと日々新しい発見と気づきをくれるはずです。同じ田んぼの中で、毎年毎年の新しい気づきがあり、わくわくがとまらない。稲の育ちを見る嬉しさももちろんのこと、田んぼは魅力が尽きない場処です。

今年はどうな生きものや草花と、新たに出会えるだろうか。そこに在るから、そこに在るからこそその尊さを思って。それはそれまでのその場処があるからこそその結果なのです。そんな自然へのまなざしを持ち続け、自然に向き合えたら、と思います。

生物環境部会

ボランティア活動へのお誘い

舞岡公園では田んぼ・畑・雑木林のほかにもいろいろなボランティア活動があります。その一部をご紹介します。ご興味のある活動に参加してみませんか？詳細はお気軽にお問い合わせください。

外来植物防除隊

セイタカアワダチソウなどの外来植物を除去します

活動日 第1土曜日 13時から15時

第3火曜日 10時から12時

ネット修理

田んぼで使うネットのほころびを繕い、

新品同様に直しています

活動日 不定期

(お問い合わせください)

イベントのようす

案山子まつり人気投票（9月18日～10月17日実施）

田んぼボランティアや学校田で活動している皆さん、そして一般からもご参加いただき、今年は38体の手作り案山子たちが並びました。人気投票も盛況で、ご来園のみなさんが楽しそうに投票してくださいました。ご協力ありがとうございました。開票作業後、11月上旬頃に小谷戸の里事務所付近に結果を掲示します。お楽しみに。

稲刈り体験（10月3日実施）

22組の家族がご参加くださり、のこぎり鎌を使ってたわわに実った稲を次々と刈り取りました。

感想 鎌を使うというなかなかできない体験が親子でできた。
自然を感じながら子どもが満足するまで稲刈りができた。
お米をどうやって収穫するのかを学ぶことができた。



写真は稲刈り体験の様子

衣装ケースを募集します♪

小谷戸の里では、プラスチックの衣装ケースを野菜の収穫などさまざまな場面で利用しています。もしご自宅にご不要になったふた式の衣装ケース(色つき)がありましたらご寄付いただけますでしょうか。ふたは無くてもよいです。小谷戸の里
TEL 045-824-0107 までご一報ください。

先月号の舞の里だよりで、素焼きの植木鉢のご寄付を呼びかけましたところ、多くの方がお持ちくださり嬉しい悲鳴をあげています。今後の保全活動に大いに活用させていただきます。本当にありがとうございました。これをもちまして植木鉢の募集は終了します。皆さまのご協力に深く感謝しております。

投句箱より

| | |
|-------------------|-------|
| 案山子立ち 夕日が稲を 映し出す | りき |
| 食の秋 米さつまいも はらがへる | 樹々 |
| 懐かしき 小谷戸の里は 美しい | 巴翔悟 |
| 秋深む 谷戸は黄金の 帯になり | 岩田信 |
| 往く風に おいでおいでと 薄かな | 佐藤満 |
| まむしすむ 築山に逃ぐ 竹トンボ | 守安雄介 |
| 秋の田は 稲をかってね てんびぼし | 佐々木七菜 |
| 畦道に 競う案山子の コンテスト | すみれ |
| 苧り終わり 落穂拾う 鳥たちが | 舞栄 |
| 風に揺れる 萩を観ていて思い起す | |
| 小谷戸の里に 原風景を | 矢地初江 |
| 一人来て 小谷戸の里の 藤ばかま | |
| 高貴な紫 いにしえ思う | 竹舞 |

こんごの予定など

下表内の作業は申込み不要ですので、当日直接お越しください。個人および家族の方対象です。
ボランティア未登録の方は、小谷戸の里事務所で住所・氏名・電話番号を記入の上ご参加ください。
会議等はどなたでも傍聴参加できます。事前に小谷戸の里事務所へお問い合わせ下さい。

| 10 月 | |
|------------|--|
| 17日 日曜日 | 10時から 畑 作業 13時から 雑木林 間伐 除伐 |
| 18日 月曜日 | 小谷戸の里 休館日 |
| 21日 木曜日 | 10時から 畑 作業 |
| 24日 日曜日 | 10時から 畑 作業 12時30分から 畑 定例の話し合い 13時から 雑木林 間伐 除伐 15時30分から 指導員連絡会 |
| 27日 水曜日 | 10時から 雑木林 間伐 除伐 |
| 28日 木曜日 | 10時から 畑 作業 |

田んぼの作業

9月の実施状況

草取り、草刈り 4枚 ネット掛け、水抜き 13枚

稲刈り、稲架掛け 18枚 案山子作り 9枚

脱穀 8枚

田んぼは1枚、2枚、と数えます

12月14日土曜日は

「舞の里だより」12月号の発行日です。
折り作業にご協力ください

舞小谷戸屋でのお買い物は
エコバッグをご持参ください

作業等について

今号に掲載の作業やイベントは、状況により中止や延期をする場合があります。舞岡公園公式ホームページ URL <http://maioka-koyato.jp/> または電話 045-824-0107 でご参加の前日に実施の有無をご確認ください。

おわがい

舞岡公園は谷戸の地形を活かした横浜の原風景をとどめている公園です。豊かな自然が残されている分、様々な注意が必要となります。ハチなどの危険な生きものや、泥んこ道の穴や窪みぬかるみ(生きものが空けたもの、雨水の流れで出来たもの)その他多くの危険が潜んでいます。自分の身は自分で守りましょう。

| 11 月 | |
|-------------|--|
| 1 日 月曜日 | 小谷戸の里 休館日 |
| 3 日 水曜日 | 10 時から 薪割り |
| 4 日 木曜日 | 10 時から 畑 作業 |
| 7 日 日曜日 | 10 時から 畑:作業 12 時 30 分から 雑木林 定例の話し合い 13 時から 雑木林 間伐 除伐 |
| 10 日 水曜日 | 10 時から 雑木林 間伐 除伐 |
| 11 日 木曜日 | 10 時から 畑 作業 |
| 14 日 日曜日 | 10 時から 畑 作業 12 時 30 分 田んぼ 定例の話し合い 13 時から 林:間伐・除伐 |
| 15 日 月曜日 | 小谷戸の里 休館日 |
| 17 日 水曜日 | 10 時から 薪割り |
| 18 日 木曜日 | 10 時から 畑 作業 |
| 21 日 日曜日 | 10 時から 畑 作業 13 時から 雑木林 間伐 除伐 |
| 24 日 水曜日 | 10 時から 雑木林 間伐 除伐 |
| 25 日 木曜日 | 10 時から 畑 作業 |
| 28 日 日曜日 | 10 時から 畑 作業 12 時 30 分から 畑 定例の話し合い 13 時から 林 間伐 除伐 15 時 30 分から 指導員連絡会 |